

交通安全作文コンクール

一位

清水和子さん(小学校)
齋藤伴子さん(中学校)

◇39年、春の交通安全運動を前に、区内の全小中校から交通安全作文を◇

◇募集し、その中から一位に、弥生小学校六年生、清水和子さんと江北◇

◇中学校二年生、齋藤伴子さん、二位に梅島小学校五年生、酒井和夫君◇

◇と第八中学校三年生、土屋康子さん、三位に元宿小学校二年生、村上◇

◇文男君と新田中学校三年生の渡部美起子さんの六点が選ばれました。◇

◇一位に入賞した作品は、五月十一日の交通安全運動足立区民大会で発表されたが、この紙上にも載せ多くの人に読んでもらうことにしました。

いのちの尊さ

清水和子

うちのおばあちゃんのことし七十五才です。とても元気で夜でもメガネをかけないで針糸をとおします。針仕事をしているそばで、「おばあちゃん、もつともつと長生きしてね。」といひますと、「もう、ここまで生きればたくさんだよ。あんまり長生きするときはらわれるからね。」わたしは長生きするのがつまらなさそうなおばあちゃんを不思議に思つて、「長生きしたほうがとくよ。テレビは見られるしオリンピックだつて見られるのよ。」するとおばあちゃんは、

「そういえばそうだね。このとしまで生きたから魔法のよいうなテレビも見られるんだから。長生きして和子と信子のおよめさんの姿を見たいものだね。」

わたしが二十才になるとおばあちゃんは八十四才になります。それまで生きたいというおばあちゃんやっばり長生きしたいんだなあと思ひます。おばあちゃんは病気をせず元気ですが、外に出るときは父や母から、昔の道路とちがうんだから自動車にひかれないうようにと、やかましく注意されます。そのたびにハイハイと返事しても、またはじまったという顔でわたくしを見て笑います。わたくしと妹がいっしょについて行くときは、

「おばあちゃんを気をつけるんだよ。」と、父母はわたくしたちに注意するので、おばあちゃんの手を引きながらとても神経をつかいます。横断歩道があるのに別なところを渡ろうとしたり信号が赤だったのに平気で歩き出そうとするおばあちゃんを、引きとめるのに苦労します。おばあちゃんの子供のころは自動車が少ない、どこを渡ってもあぶなくなかつたので、そのクセがついてしまつたのでしよう。でもいまそんなことをしたらいっぺんにひかれてしまいます。「おばあちゃん、長生きした

事故のない明るい町に

齋藤伴子

現在の私たちは、ちよつと町へ買物に行つたり、あるいは友人と遊びに行つたりしても、常に交通事故というものがおびやかされています。信号機が青になつて、横断歩道をわたる時、急にそばにいた車が動きだしたりしないか。あるいは、電車やバスに乗っている時、どこかで衝突したり、脱線したり、しないか。そんな事ばかりに気を使つたためせつかくの楽しみもだいなしになつてしまいます。買物をするにしても、友人と遊ぶにしても交通事故などいじやまされず、もつと楽しいものにするには、私たち一人一人がお互いにゆずり合う気が

決して悪い気はしないはずで、そして快よくこちらの人の好意をうけ入れて、「ありがとう。」という親しみのこもつた声で好意に答えてくれるでしょう。そして同時に、その場のふんいきを和らげる事ができると思ひます。何千人という人の命をあらゆる電車やバスの運転手は、常に責任感をもたなくてはなりません。「他人の命など、どうでもいい。」と思つている人が電車やバスの運転手になつたらどうでしょう。きつと安心して電車やバスを利用する事ができなくなつてしまふでしょう。そんな無責任な人は今の私たちの町にいないと思ひます。でもそれはわかりません。少なくとも、そうあつてほしいと思ひます。交通事故をなくすには、ゆずり合ひの気もちと、運転手は自分の仕事の責任、歩行者は歩行者の守るべき規則を、いつもむねにとどめておいて行動する事が大切だと思ひます。そうしているうちに、いつかきつと交通事故というものがなくなる日が出てくると思ひます。そして、私たちの町からも、暗い事故の影を消す事ができるでしょう。みんなでお互いに協力し合つて、一日も早く、私たちの町を事故のない、明るい町にしたいものです。

「」六月十三日「」

オリンピックを迎える区民のつどい

オリンピックを間近にひかえ、花いっぱい運動や、新生活運動など、区民の方々の協力を得て活発な運動が展開されています。

区と新生活運動推進委員会では、オリンピック東京大会を成功させるばかりではなく、明かるく、住みよい町にしよう、区内の全機関、全団体をあげて、六月十三日(土)午後一時から、文化会館と体育館において「オリンピックを迎える区民のつどい」を開くことにしました。

このつどいでは、館外で花の展示会や人形パノラマ(明るい足立の理想図)、記念風船あげなどを行なう他、館内では、音楽隊のパレードや機

械体操、仮装行列、新生活踊りなど、全部で四十六種の行事が行なわれます。

明るい足立はみんなの願い
みんなの実のらせ
明るい足立

育館において「オリンピックを迎える区民のつどい」を開くことにしました。

このつどいでは、館外で花の展示会や人形パノラマ(明るい足立の理想図)、記念風船あげなどを行なう他、館内では、音楽隊のパレードや機

入選発表

公明選挙標語コンクール

明るく正しい選挙が行なわれるようにと、四月に公明選挙標語コンクールが行なわれました。

応募総数六百八十九点の中から次の作品が入選しました。なお入賞者には置時計、茶器などの記念品が贈られました。

一等賞(一点)

この一票 世のため 身のため 人のため

堀江 久

二等賞(二点)

一票が あすの社会を 左右する

北原 重利

この一票 明るい 政治の道しるべ

福島松太郎

佳作(十五点)

▽手島寿雄▽園田智恵子(二点)▽高橋潔子▽小林栄次郎

ごぞんじですか

人権擁護委員制度

この制度は、地域社会の住民の人権を守るため、今からちょうど十五年前につくられたもので、その地域に住んでいる民間の有識者から選ばれた委員が、住民の日常生活において起きるいろいろな紛争や人権侵害などの問題に、指導、助言、または相談相手となつて、事件の解決に当たります。

委員は、その取扱った事件について秘密を守る義務がありますから安心して相談できます。

足立区では、毎月二十二日午後一時から四時まで、産業振興館において「人権身の相談所」を開き、無料で相談のついでに、



大東京祭記念バッチ

大東京祭も、ことしで九回目、特にオリンピック東京大会も開かれるとあって、カッパくんもオリンピックマークをかかえています。

このバッチは七月中旬ごろ小中学校を通じて販売する他、区役所でも一般の方にお分けします。価格は、一個三十円で、このバッチを付けている方は、十月一日に限り、動物園や神代植物園などが無料で入れます。

▽森田京作▽大田一郎▽高木恵一▽松本公孝▽菅野甲子雄(二点)▽岩崎一男(二点)▽若林伸幸▽西谷千枝子

引揚者国庫債券をお持ち

ちの方に貸付をします

東京都では、六月十五日から二十五日まで、引揚者国庫債券をお持ちの方に、債券を担保として受けた引揚者国庫債券の毎年の償還金から差引くことになっています。したがって、返還が済んだ後に債券をお返しいたします。

六月六日

第八回 区民芸能大会

足立区観光協会では、六月六日(土)午前十時から文化会館において、第八回、足立区民芸能大会を開催します。

この大会には、舞踊、歌謡曲から物まね、講談にいたるまでいろいろな種目があり、区内のアマチュア芸能人のノドや芸を競うことになっています。

入賞者には、賞状と賞品を贈るほか、参加者全員に記念品が贈られます。

入賞者には、賞状と賞品を贈るほか、参加者全員に記念品が贈られます。

- また、区内には次の五名の方が人権擁護委員になつていますから、毎月二十二日に限らず、お近くの委員にご相談下さい。
- ▽ 鈴木文治郎 小右衛門町 一一番地 〇三〇五ノ六
- ▽ 坂田幸太郎 千住寿町六番地 〇三三五二九
- ▽ 田口富蔵 本木南町二一番地 〇九九六〇〇
- ▽ 松崎順赫 梅田町一一五〇番地 〇七三七八
- ▽ 足立明司 千住緑町二十三番地五 〇二九四二

人権擁護委員

足立区観光協会では、六月六日(土)午前十時から文化会館において、第八回、足立区民芸能大会を開催します。

東京都では、六月十五日から二十五日まで、引揚者国庫債券をお持ちの方に、債券を担保として受けた引揚者国庫債券の毎年の償還金から差引くことになっています。したがって、返還が済んだ後に債券をお返しいたします。

東京都では、六月十五日から二十五日まで、引揚者国庫債券をお持ちの方に、債券を担保として受けた引揚者国庫債券の毎年の償還金から差引くことになっています。したがって、返還が済んだ後に債券をお返しいたします。

足立区観光協会では、六月六日(土)午前十時から文化会館において、第八回、足立区民芸能大会を開催します。



遺族の方に

死亡一時金が支給されます

国民年金保険料を三年以上納めた方が死亡した場合、遺族に死亡一時金を支給することになっていますが、その支給が、この四月からはじまりました。ただし、老令・通算老令・障害・母子・準母子年金などの支給をいままで受けていた方や、前に支給されたことのある方、または、未納

保険料があった方が死亡した場合には支給されません。死亡一時金を受けることができる人の順位：死亡の当時その人といっしょに生活していた配偶者、子、父母、孫、祖母、兄弟姉妹の順に支給されます。

死亡一時金の額：保険料を納めた期間により、五千円から最高五万二千円まで支給されますが、現在のところでは保険料納付済期間が三年です。ので、五千円が支給されることとなります。

なお、保険料を前納し、余分に納めてあった場合は、その分を遺族の方にお返しいたします。



所得状況届をお忘れなく

老令・母子・障害福祉年金を受けている方は、毎年、五月に各支払郵便局で支払を受けた後、すぐのことしの所得

状況届を出していただくことになっていきます。この届を出さないこと、ことしの福祉年金はもらえません。

第十四回目を迎えた「足立区産業展及び優秀発明展」はことしも十月二十日から二十四日までの五日間、都立産業会館で開きます。

この展示会は、国内だけではなく、海外へも宣伝され、外国からの注文もあり好評です。

出品者の資格は、区内に事業所や営業所があれば、個人団体、法人を問わず出品できます。申込みは、七月三十一日までに申込書と出品料を添えて、区役所経済課商工係まで申込み下さい。くわしいことは経済課商工係へ。電話 211-51



第14回 足立区産業展優秀発明展 出品作品募集

危険な水あそびはやめさせましょう



夏が近づいてくると水の事故が増えてきます。区内でも、もうすでに、梅田排水場付近や、保木間町の沼地で水の事故にあっており、幸にも二人とも命はたすかりました。いかに遊びや、水泳禁止のところで泳いでいる子が見うけられますが、みんな注意して、水の事故から子どもを守ってゆきましょう。

区外から移転してきた方、または配偶者(夫・妻)や扶養義務者が、足立区以外に住んでいる場合は、その区市町村長の発行する「三十八年分所得証明書」も必要です。

西加平授産場が完成

西加平町一八六番地に授産場ができました。これは、主婦が家事のあいまに仕事の技術をおぼえ、有利な収入を得て、たのしくゆとりのある生活ができるようにと、都が建てたもので、手工芸品や紙器加工などの簡易な仕事があります。仕事は、授産場内でやるものと、自宅に持帰ってやるものと二つの方法があり、米の通帳と印鑑を持って、授産場へ申込みます。

電々公社からお知らせ

電々公社では電話需要の急増にこたえ局番の増設や架設を急いでいます。

梅島電話局には、三十九年度中に、八八〇局、八八四局八八九局、八九〇の四局を増設する予定なので、三十八年九月頃までに申込みをされた方ならば、ほとんど今年度中に架設できます。また足立局は、申込んでから半年ぐらいのうちに架設できる予定ですから、電話の架設を希望する方は、早めに電話局へ申込み下さい。

電話の架設申込みは他人に頼まず、ご自分で、直接電話局へ申込んで下さい。他人に頼んだりしたため、思わぬ損害を受けることがあります。